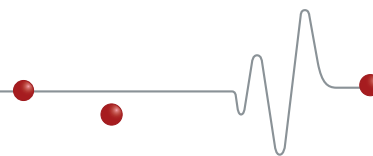
株式会社エフシージー総合研究所

Corporate Profile

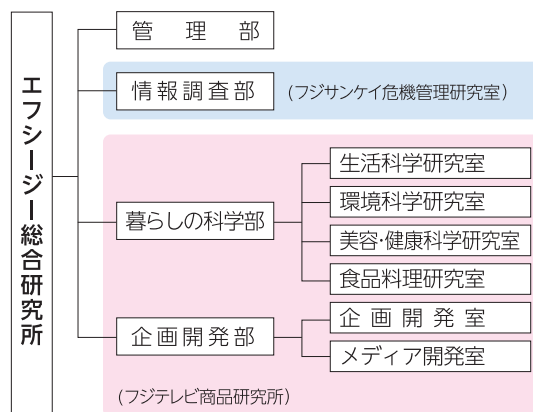
FCG Research Institute, Inc.

日常におどろきを。　生活に発見を。

エフシージー総合研究所とは

エフシージー総合研究所は、フジサンケイグループの調査・研究機関が統合され、1985 年 9 月に誕生しました。現在は、企画開発部、暮らしの科学部、情報調査部、管理部の 4 セクションで組織されています。このうちユニークな理系の専門家集団である企画開発・暮らしの科学部門は「フジテレビ商品研究所」(通称)として、消費者・生活者の視点で日本人の生活・暮らしを科学・研究し、その成果を消費者、企業、メディアに発信し続けています。また、もう一つの柱である情報調査部門は、Fujisankei Communications Group のメディアグループ機能を最大限に生かし、一般企業や各種団体の広報活動を支援するなど独自の企画で高い評価を得ています。

会社概要

社　　　名	株式会社エフシージー総合研究所
所　在　地	東京都江東区青海一丁目1番 20 号 ダイバーシティ東京オフィスタワー6 階
創　　　立	1985 (昭和60) 年9月
資　本　金	1300 万円
代表取締役社長	小櫃眞佐己
株　　　主	株式会社フジ・メディア・ホールディングス 株式会社産業経済新聞社

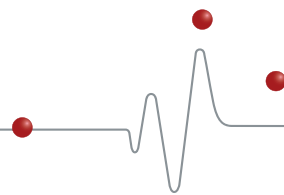
組織図

グループ会社

フジ・メディア・ホールディングス

親会社のフジ・メディア・ホールディングスは、7グループ21社(2014年4月現在)で構成され、事業面で緊密な関係を持っています。

フジサンケイグループ

テレビ、新聞、ラジオ、出版、映画、音楽、ソフトパッケージ販売、通信販売などの分野で業務を展開し、彫刻の森美術館・上野の森美術館・美ヶ原高原美術館での文化事業にも取り組んでいます。エフシージー総合研究所は「出版・情報・その他のグループ」に属しています。

エフシージー総合研究所のあゆみ

1985年 9月	株式会社サンケイ総合研究所（サンケイ新聞プロダクションから社名変更）と株式会社扶桑社内のフジテレビ商品研究所を統合し、株式会社エフシージー総合研究所としてスタート
1987年 6月	産経新聞労組情報センターをエフシージー総合研究所に移管
1987年 9月	本社機能を西新宿の第一生命ビルに移転
1988年 5月	産経新聞の紙面カラー化で料理レシピの掲載を開始
1991年10月	企業・団体の広報マンを対象にした会員制情報サービス組織「広報フォーラム21『プラスα』」(98年からフジサンケイ広報フォーラム）がスタート
1998年 2月	オフィスを西新宿から東品川（天王洲）のフジテレビ別館（ISビル）に移転
1999年 8月	「食品添加物を調べてみよう」無料サイトオープン。のちに食品表示管理システム「食品大目付そうけんくん®」に発展
2000年 8月	模擬記者会見を体験する「メディアトレーニング」事業をスタート
2001年 4月	生活科学部を企画開発部と暮らしの科学部に分割
2005年 9月	月刊広報紙「エフシージー総合研究所ニュース」を発刊
2008年 3月	広報誌「FCG LABO」を創刊（年2回発行）
2008年 9月	「食品大目付そうけんくん®」を商標登録。新規事業として「食品大目付そうけんくん®」が始動
2008年10月	フジ・メディア・ホールディングス設立にともない、同ホールディングスの子会社になる
2012年 5月	オフィスを東品川から青海（台場）のダイバーシティ東京オフィスタワーに移転

情報調査部

Information Research Department

情報調査部とは

産経新聞、フジテレビなどグループのメディア機能を生かし、最新情報の収集・分析を行う一方、会員制の広報勉強会「フジサンケイ広報フォーラム」を毎月１回開催。このほか、企業・団体など委託先の要望に沿ったメディアトレーニング、各種講習会・勉強会などを実施しています。また、2014 年からは無料の勉強会「大林宏・山本ヒロ子の広報塾」を開講、参加者との情報交換の場も設けています。

1. フジサンケイ広報フォーラム

会員制の広報勉強会。毎月１回、広報担当者の関心が高いテーマで産経新聞、フジテレビの幹部記者、有識者らを講師に招いて月例会を開催、会員相互の情報交換の機会も提供しています。また、会員には事件・事故や企業の広報活動、マスコミ動向などタイムリーな社会的関心事を産経新聞記者らが解説・分析する月刊の会報誌を発行するとともに、広報に関連するさまざまなアドバイスも行っています。さらに、各会員の代表者 (部長 & 室長など) のみのインナーサークルとして「報友会 (ほうゆうかい)」も随時開催しています。

2. メディアトレーニング

企業・団体などから個別注文を受けて実施する模擬記者会見中心の広報トレーニング。委託先で起こり得る事件・事故、不祥事を弊社の専門コンサルタントが想定してシナリオをまとめ、それに基づいて経営トップ、幹部社員らにプレスリリース、想定問答集を作ってもらい、模擬記者会見に臨んでもらいます。記者役には産経新聞、フジテレビなどの現役幹部・記者があたり本番さながらの質問をします。会見後に記者役の講師が講評を行い質疑応答の時間も設けています。要望に応じて会見場にテレビカメラを入れて撮影を行うこともあります。

3. オーダーメード・サービス

① オーダーメイド講座

企業・自治体・大学などのお客様から具体的なご要望を伺ったうえで実施する講習会・勉強会です。ご要望の日時・場所に講師とともに伺います。内容は危機管理への対応、動画撮影・編集技術のコツなど広報関連のものから、リーダーシップトレーニングなど人材開発のテーマにもご相談に応じます。ご希望の講演内容等に応じてお見積りをさせていただきます。

② 出張広報研修会

新聞やテレビなどマスコミを通じて情報発信する「広報」の重要性が高まっています。新製品の開発、既存サービスの強化など積極的にマスコミに取り上げてもらいたいテーマをアピールするにはどうすればいいのか。事件・事故が発生したり、不祥事が発覚するなどマイナス情報はどのようにコントロールしてマスコミ対応すべきなのか…。
そんな企業・団体のイメージアップ、ブランド力向上を考えておられる広報、企画部門の皆さまを中心に、広報業務の基礎知識から不祥事の対応までを学んでいただくのが「出張広報研修会」。広報、危機管理に精通したエフシージー総合研究所のベテラン研究員が皆さまのオフィスなどご指定の場所に出向いて開催いたします。

4. 各種広報講習会

オーダーメード・サービス以外にも、企業・団体などの広報担当者を対象に広報関連の講習会を企画・開催します。なかでも広報業務を 5 週にわたって基礎から学べる短期集中講座「新任広報マン夏期講座」は定番の人気講座です。

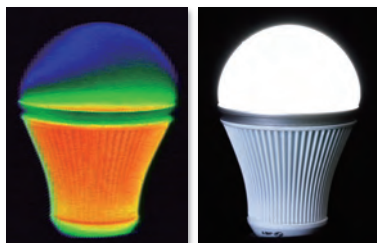
5. 大林宏・山本ヒロ子の広報塾

広報パーソンとしてのスキルアップや、最新の活きた情報収集のための無料の勉強会。フジテレビ報道局解説委員の大林宏氏と弊社エグゼクティブ・プロデューサーの山本ヒロ子が毎月 1 回、弊社会議室で開催。講義とともに参加者との意見交換も行います。

暮らしの科学部

Living Science Department

暮らしの科学部とは

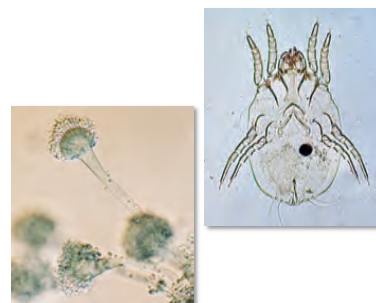
実験や調査で得た商品情報や暮らしの情報をテレビ番組や新聞・雑誌の記事、広告制作などの分野で幅広く発信しています。料理レシピの開発、化粧品の効果の測定から繊維・洗剤・日用品・家電製品の性能検査や品質管理まで“暮らしにかかわるいろいろ”が専門。一般企業から依頼される商品開発研究や販促資料制作など多様な業務は消費者と企業を結ぶ架け橋の役割を果たしています。研究のいくつかは学会で発表し、高い評価を得ています。

生活科学研究室

PM2.5 の除去性能を含む空気清浄機の性能試験のほか、日用雑貨、家電製品、美容器具、調理器具など家庭用品全般についてハード・ソフト両面から商品を評価しています。試作品や商品化後の実用テスト、パッケージや取扱説明書の制作、広告表示の適法性チェック、プロダクト・リデザインなどのサポート業務のほか、通販商品を中心に事故原因究明機関としての業務も手掛けています。

美容･健康科学研究室

美容関連商品の評価から肌や毛髪のケアまで広範囲に研究を行っています。化粧品、機能性食品、美容機器、トイレタリー商品などについてモニターによる肌への効果を検証します（ヒト試験）。商品に含まれる成分の有効性を試験管レベルで評価します（*In vitro* 有用性試験）。また、使用感をベースとした商品特徴をビジュアルで表現する独自のモデル性能評価試験を行っています（実験VOCE 仕様評価）。試験結果に基づき、製品の訴求改善提案、取扱説明書や販促ツールの作成も行います。

食品料理研究室

食品や調理器具に関する調理科学的試験や実使用テスト、官能評価などを通して食全般を研究しています。産経新聞生活面に料理レシピを掲載するほか､テーマに沿った料理を開発して調理し、撮影から編集までを一貫して行っています。日々、オリジナルの料理レシピをデータベース化（約1万8000件）し、企業の販促用ツールやパンフレット、ウェブサイトなどへ貸し出しています。

環境科学研究室

室内環境、特に居住環境中で健康被害を及ぼすカビ･微小昆虫類･ダニの研究が専門。喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルゲンとなる有害生物の研究は、大学や国公立の研究機関と積極的に共同研究を行い、テレビ・新聞・雑誌を通じて一般の方に対策法を啓発しています。空気清浄機の除菌性能評価など、環境改善商品の実用試験も得意分野。また、文化財のカビ汚染対策にも取り組んでおり、美術館や博物館の環境調査から作品の調査まで行い、修復士と協力して適切な対策法をアドバイスしています。BSL2（バイオセーフティレベル2）の実験室を備えています。

企画開発部

Planning Development Department

企画開発部とは

「食品大目付そうけんくん®」の開発、管理・運用を担当。暮らしの科学部や情報調査部と連携し、実験・調査結果やこれまでのノウハウ、コンテンツを生かした書籍・パンフレット類の企画制作、取扱説明書・広告の制作などを担当しています。
ホームページ等の立ち上げやリニューアルデザインなどコンテンツの監修を含めた業務実績も豊富。特に、難解で専門的な内容を一般の方に分かりやすく伝えるノウハウについては高い評価を得ています。

企画開発室

複雑な食品規制情報をデータベース化し、原材料・食品添加物・残留農薬などの約 1 万 3000 データとリンクさせた「食品大目付そうけんくん®」の開発・運営を行っています。「そうけんくん」は、最新の法律や規格基準の配信・閲覧機能のほか、法令等に基づく食品一括表示自動作成機能を持ち、食品リスク管理業務を強力にサポートします。

メディア開発室

「そうけんくん」のシステム開発をはじめ、書籍・パンフレットの企画・制作や広告の企画・制作、商品の取扱説明書の作成など幅広く対応。新聞や雑誌への科学的な記事の作成やホームページ・CMSの制作、データベース設計、デジタルデータ・コンテンツの管理運用の提案など、デジタルメディア関連の業務も幅広く展開しています。

株式会社エフシージー総合研究所

東京都江東区青海一丁目1番20号 ダイバーシティ東京オフィスタワー6階
TEL：03-6891-8500（代表）

アクセス

【ゆりかもめ】「台場駅」4番出口、「青海駅」北出口
【りんかい線】「東京テレポート駅」B出口

http://www.fcg-r.co.jp

Fujisankei Communications Group

株式会社エフシージー総合研究所

〒135-0064 東京都江東区青海 1-1-20 ダイバーシティ東京オフィスタワー 6 階
http://www.fcg-r.co.jp